

## 解答

- ① 専門 ② 辺（り） ③ 割（く） ④ 刷（る） ⑤ 傷（ま）  
⑥ 留守 ⑦ 訪問 ⑧ 省（く） ⑨ 注（ぐ） ⑩ 貨物

- 二 a ① けん 記号 オ b ② ちょ 記号 カ c ③ そ 記号 ア  
d ④ だ 記号 ウ e ⑤ ば 記号 エ

三 問一 生

問二 A ウ B イ C ア D エ

問三 進化の結果、短い命を選択していること。

問四 エ

問五 イ

問六 原核生物は、元の細胞と同じ細胞を増やす細胞分裂を無限に繰り返すだけで、真核生物のように老いて細胞が疲弊したり死滅したりすることも、次世代に生まれ変わって進化することもなく、永遠に同じだということ。

問七 ア

命 一世代が生まれて死ぬまでの、限りあるもの

問八 生命 前の世代から次の世代へと受け継がれ、永遠に続いていくもの

四 問一

A ア B ウ

問二 エ

問三

問四

職場の管理担当者の徳永さんと、統括主任のティアンに呼ばれたということは、立て続けに二件、客とトラブルになったことなど勤務態度を注意されるのだと思ったから。

問五 イ

問六 せっかくの日曜日に会社の野球チームの応援に行くのは気が進まないが、行けない理由もなく、断る勇氣もなく、とまどっている気持ち。

問七 ア

問八 イ

## 解説

三 問八

本文の最後のほうで「生命は死と再生を繰り返し、世代を進めることで命をリレーしていく」「生命は死ぬことによって、永遠であり続ける。そして、生物は限られた命を全うするために、全力で生き抜く」とあります。

「命」には限りがあるが、「生命」は永遠であるという違いをまとめましょう。

四 問六

「俺」は、徳永さんやティアンが正社員で自分が非正規労働者であることにひがみを持っており、「せっかくの日曜日に会社の野球チームと一緒に行動するのは嫌だ。」と思っていることが描写されています。ティアンに誘われては断れないが、日曜日に予定があるわけでもなく、押し切られてとまどっている様子が読み取れます。